



コミュニティ・スクール基本理念

一地域の中で、みんなで生き生きと学ぶ川崎っ子の育成一

川崎小学校 めざす学校像

ふれあいを通して人と人がつながり、学びにあふれる学校

NO.16 令和7年9月29日 校長

第92回NHK全国学校音楽コンクール 東海北陸ブロックコンクールに出場しました ～ご声援ありがとうございました～

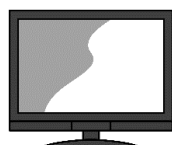


5・6年生有志が9月13日(土)に名古屋文理大学文化フォーラム(稲沢市民会館)大ホールで行われた、第92回NHK全国学校音楽コンクール東海北陸ブロックコンクールに出場しました。小学校の部は各県を勝ち上がった8校が出場しました。

朝方は緊張した面持ちでしたが、学校で練習をすると表情もほぐれてきたように感じました。貸し切りバスでコンクール会場へお出かけしました。保護者の方の支えもあり、1学期や夏休みの練習を積み重ねて、この舞台に立つことができました。継続が子どもたちの力となっていることをひしひしと感じました。結果は奨励賞でした

保護者の皆様方におかれましては、夏休み期間中もお子様の練習への参加及びホール練習、当日の応援など、ご協力いただきありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

また、東海北陸ブロックコンクールに出場するにあたってのバス代につきましては川崎小学校 PTA 様よりご負担いただきました。川崎まちづくり協議会様からは差し入れのお志を頂戴しました。亀山市文化会館様におかれましては、本番を想定してのホール練習のために、お力添えをいただきました。皆様方からのご支援に重ねてお礼申し上げます。ありがとうございました。



テレビ放送日時をご案内いたします。

令和7(2025)年10月4日(土)午後2時から

【Eテレ・中部7県向け】です。ぜひご覧ください。

教員も学び続けています

私たち教員は、その職責上絶えず研究と修養に努めなければなりません。教員は子どもたちのために、教職生涯を通じて継続的に新しい知識・技能を学び続け、子ども一人一人の学びを最大限に引き出す役割があります。

ご承知の通り学校の学びは授業で展開されますから、どの先生も準備をした上で毎日の授業にのぞみます。先生の力量をアップさせるには、研究授業など長期間の授業研究に基づいたものもちろん大切ですが、短期間で子どもの実態を把握し、その分析にも基づいた授業を臨機応変に進度調整し、日々展開していく力も我々教員には求められます。毎日がPDCAサイクルと言っても過言ではないでしょう。

そのためにも、校内研究の土壌が教員の中に根付いていくことが重要です。研修担当がお互いに授業を見合う期間を設定してくれました。地域によっては”互見授業（ごけんじゅぎょう）”と言ったりします。普段からお互いの授業を見合うことは行っていますが、この期間はさらに積極的に授業を見に行き力量を高めます。授業を見るために時間割を必要に応じて調整し、見に行きます。

川崎小学校の学力が向上してきたのは、子どもたちのがんばりはもちろんですが「普段から授業を見合う文化がある」校内研究の土壌が定着してきたことも大きな要因だと考えます。引き続き良い授業となるよう研究を進めます。



保幼小連携 井田川幼稚園児・みずほ台幼稚園児が給食の様子を見学しました

保幼小連携の活動の一つとして、9月11日に来年度入学予定の井田川幼稚園児・みずほ台幼稚園児のみなさんが給食の様子を見学しました。主に1年生の配膳の様子や給食の様子を見学してもらいました。

また、時間の許す限り校舎の見学もしていただきました。給食の様子はもちろんのこと、小学校には幼稚園にないものがたくさんありますので、園児たちは興味津々でした。

来年度の入学を心よりお待ちしております。

